

立命館經濟學

第十卷 第二号

昭和三十六年六月

内 容

論 説

- 賃労働者の範疇的把握(下)……………梯 明 秀 1
——「商品人間」と「労働人間」との媒介的統一として——
- 士族反乱の構造的特徴について(二)……………後 藤 靖 65
- ザクセン州における農業労働力の存在形態(一)……………大 藪 輝 雄 85
- 地方証券取引所の諸問題……………住ノ江佐一郎 112

研 究

- 地域産業連関表利用の一例……………岡 崎 不 二 男 1

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学 第九卷・第六号

論説

賃労働者の範疇的把握(上) 梯 明 秀

——マルクスの「商品人間の
自己意識」の分析に限定して——

戦後日本の農業制度の破綻 井 上 晴 丸

古典学派に於ける財政思想(一) 箕 浦 格 良

——A・スミスとJ・S・ミル
の租税原則論の展開——

丹後機業地における 足 立 政 男

労使関係について

研 究

十八世紀におけるライン繊維工業の展開と

「営業の自由」の前提条件(二) 川 本 和 良

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第十卷・第一号

論説

労務管理の対象 坂 寄 俊 雄

賃労働者の範疇的把握(中) 梯 明 秀

——マルクスの「商品人間の
自己意識」の分析に限定して——

士族反乱の構造的特徴について 後 藤 靖

研 究

資本予算と減価償却 服 部 俊 治

——投資利益率に及ぼす
加速的減価償却の効果——

発行所 立命館大学人文科学研究所